

第3回TMUがん薬物療法看護セミナー

がん治療中の親をもつ子どもへのケアを考える コロナ禍のがん薬物療法看護への影響を振り返る

日時：2021年12月19日（日）13:30～17:00

会場：Web開催（Zoom）【先着250名】

対象：認定看護師・専門看護師, がん看護に携わる看護職・看護学生、他

参加費：1,000円（参加締切12月15日締切）

参加申込：以下URLまたはQRコードにリンクされた申込フォームおよび参加費を納入下さい
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfWPCWcRfCV3YGH5m_0mbz2aw5TBc9ZxKa5PcOHOVxKy5RfWA/viewform



13:30-13:35 開会挨拶 福井里美（東京都立大学）

13:35-14:35 **学校でのがん教育の現状と今後の展望**
植田誠治（聖心女子大学現代教養学部教育学科 教授 副学長）

14:40-15:25 **がん治療を受ける親をもつ子どもたちへのケア**
小林真理子（放送大学大学院 臨床心理学プログラム 教授）

シンポジウム1 座長 福井里美（東京都立大学健康福祉学部看護学科 准教授）
15:30-16:00 **親ががん治療を受けている子どもたちへのかかわり**
学校保健室、担任の立場からの生徒への支援の実際 安永晴香（養護教諭）
がん治療中の患者と子どもへの看護の研究動向 榮 裕海（東京都立大学博士前期課程）
がん化学療法中の母と高校生の娘への看護経験 小山清美（京都山城総合医療センター）

シンポジウム2 座長 三浦里織（東京都立大学健康福祉学部看護学科 准教授）
16:05-16:55 **コロナ禍のがん薬物療法看護への影響を振り返る**
がん薬物療法看護へのコロナ禍の影響-中間報告 勝連 勝（小張総合病院）
CSTD導入によるコロナ禍で感じたメリット 町田宏美（川口市立医療センター）
コロナ禍におけるアピアランスケアの見直し 瀬沼亮子（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
病棟内チーム編成変更に伴うカンファレンスの活用 吉田久美子（大和市民病院）

16:55-17:00 閉会

* 研修会の最後に受講証を発行します

主催：東京都立大学 がん薬物療法看護研究会

共催：埼玉がん薬物療法看護セミナーSCCNS

お問い合わせ：事務局 東京都立大学健康福祉学看護学科福井研究室

福井里美 satomif@tmu.ac.jp

東京都荒川区東尾久7-2-10 03-3819-1211（代）



TOKYO
METROPOLITAN
UNIVERSITY